

audioproが OEM 生産する、AIRBOW の小型スピーカー

IMAGE 11/KAI3

販売価格 ¥ 43,500 (税込・ペア)

販売価格 ¥ 22,500 (税込・1本)

- 外形寸法/重量 : W124×H199×D155mm 2.4kg(1本)
- インピーダンス : 4Ω



IMAGE 11/KAI3 誕生

音源からリスナーの耳までの距離誤差を生じない「点音源」がスピーカーの理想とされます。しかし、低音を出すためユニットにはある程度の面積が必要になります。けれどユニットが大きくなると高音が出なくなり、スピーカー本体（バツフル面）からの反射も大きくなります。また、キャビネット内で生じる低音を利用する「バスレフ」方式では、反転して遅れる低音が邪魔になることがあります。これらの矛盾を高いレベルでクリアするのが、ウーファのサイズが 10cm、ツイーターの口径が 25mm 程度の密閉型小型 2Way スピーカーです。

AIRBOW IMAGE11/KAI シリーズは、その理想に近い形で audiopro が発売していた IMAGE11 をベースに様々な改良を加えたカスタムモデルとして、AIRBOW が audiopro に OEM 発注して作っています。すでにベースモデルの IMAGE11 の生産は完了していますが、AIRBOW 専用 OEM モデルとして生産が続けられ、IMAGE11/KAI 初代モデルからの累計では、3000 セットを超える大ヒットスピーカーとなっています。

2015 年に新発売する「IMAGE11/KAI3」は、ツイーター回りの音響反射処理などに改良を加えたことで、従来モデルと比で「高域の滑らかさ」、「透明感」、「音抜けの良さ」がアップデートされています。けれど外観や基本的な音質は変わっていませんので、従来モデルと混同して使っていただいても、一切違和感が生じませんのでご安心下さい。

音質の特徴

小型 2way スピーカー最大の美点である、ウーファーとツイーターの繋ぎりの良さを徹底的に追求した IMAGE11/KAI シリーズは、楽器のアタックを正確に素早く立ち上げ、生楽器を聴いているようなストレスのない音を出します。また、人間が「音色（音の変化）」を感じる、音の頭（楽器のアタック）部分の再現性に優れるので、音質の明瞭度が非常に高く、楽音の小さなニュアンスの変化や、音楽の躍動感やエネルギー感がストレートに再現されます。

反射の少なく小型のキャビネットと、ツイーター周りに使われているフェルトリングの効果により、指向性が驚くほど緩やかで設置場所を問わず、まるでホログラムのように音像が立体的に再現されます。ステレオとしての使用だけではなく、センタースピーカーやサラウンドスピーカーとしてお使いいただいても抜群の音質を発揮します。

また、スピーカーのすぐ側で聴いても「スピーカーから音が出ているのがわからないほど自然で繋ぎりの良い音質」が実現するので、ニアフィールドの試聴にも向いています。小音量でも音痩せしないのも大きな特長です。

けれど、それらよりもずっと素晴らしいのが、IMAGE11/KAI3 の「嘘の音出さない」能力です。人間は「ないもの」よりも「違うもの」に対して非常に敏感です。スピーカーは複雑になり大型になればなるほど「不自然な音（録音時になかった音）」が増え、再現される音楽に「違和感」を覚えるようになります。小型スピーカーの理想を追求し、「不自然な大人らない方がよい（正確な音だけが出ればよい）」という思想から生み出された IMAGE11/KAI3 は、大型スピーカーにない「ストレートでハイスピードな音質の心地よさがどんなものか？」を教えてくれるでしょう。

今まで聞き逃していた「新鮮な音楽の感動」を発見できるスピーカー。IMAGE11/KAI3 は、文字通り「小さな巨人」なのかも知れません。